

月別概況（平成23年）青果

1月

野菜

1kg当たり平均単価 224円

年末からの寒波で供給量不足の葉茎菜類キャベツ、白葱等は単価のばらつきはあるが、堅調推移。果菜類胡瓜、茄子等は寒さの影響で前捌き悪く低迷。全体としては供給量にばらつきはあったものの消費マインドが冷え込んでおり単価は伸び悩んだ。

果実

1kg当たり平均単価 315円

主力のみかん、いちごが裏年。また低温の影響で入荷が減少。全体的に入荷は2割減で価格は5割高で終了。

2月

野菜

1kg当たり平均単価 236円

降雪等天候不順で主要品目（大根、人参等）の出荷が増えず平年を上回る単価で推移。馬鈴薯、玉葱も相変わらず出荷少なく生椎茸も同様に堅調推移。果菜類のトマト、胡瓜は低温で前捌き振るわず低調であった。全般には前年を上回る順調な販売であった。

果実

1kg当たり平均単価 314円

みかん、晩柑類が裏年、低温等の影響により大幅入荷減。全体的に入荷数量は2割減。単価平均は5割高で終了

。

3月

野菜

1kg当たり平均単価 214円

大根、キャベツ等は低温、小雨で生育遅れで数量減の単価高で推移。甘藷は作業工程遅れから数量減となり堅調。玉葱、馬鈴薯も順調推移。一方果菜類は地震の影響から関西市場の入荷の比重が多くなり増量安。白菜、人参は絶対量不足から高騰。全般に堅調に推移した。

果実

1kg当たり平均単価 307円

りんご、苺、メロンが前年より単価安。みかんは入荷減であったが、八朔、甘夏などが入荷増の大幅な単価高で推移。全体的には入荷減の単価高で終了。

4月

野菜

1kg 当たり平均単価 204円

東日本大震災後、景況感は急速に悪化し、消費自粛ムードが浸透し、販売価格は平年単価を大幅に下回ることになった。

果実

1kg 当たり平均単価 291円

国産果実はメロン以外の品目は前年より高値で推移。全体的には入荷、単価とも前年並みで終了。

5月

野菜

1kg 当たり平均単価 184円

震災の影響と天候不順で増減はあるが、遅れていた分が中旬以降に入荷し、入荷増の単価安で推移。

果実

1kg 当たり平均単価 317円

全体的には主力のりんご、また雑メロンの入荷が多く入荷数量は前年を上回ったが、単価はやや安で推移した。

6月

野菜

1kg 当たり平均単価 227円

長雨の影響で品目によって生育遅れも見られたが重量野菜を中心に順調な供給となっ
前年同月では売り上げをけん印した土物（玉葱、馬鈴薯）で安値が目立った。

た

果実

1kg 当たり平均単価 311円

県内産桃が大幅入荷減の他は前年並みの入荷であった。特に青森産フジは入荷数量が前年の4倍の大幅増。単価は前年並みで終了。

7月

野菜

1kg 当たり平均単価 252円

台風6号の影響で軟弱野菜、果菜類は入荷減の単価高で推移したが重量野菜が販売に苦戦した。特に人参が北産の品質低下、後続産地の遅れから入荷減の単価安で推移。全般では数量、単価ともに前年を割った。

果実

1kg 当たり平均単価 334円

営業日数が1日少ないのと台風6号の影響により前年より約1割の入荷減。単価は全体で前年並みで終了した。

8月

野菜

1 k g 当たり平均単価 2 2 7 円

入荷量は前年並みであったが、単価は果菜類についてはまずまず、重量野菜は安値で推移した。

果実

1 k g 当たり平均単価 3 2 8 円

全体的に県内産果実は天候等の影響により、1週間の遅れで小玉傾向の為入荷減。特に青森県産のりんごの入荷が大幅増単価は1割安で終了。

9月

野菜

1 k g 当たり平均単価 2 5 1 円

7月～8の月高温多雨また、台風と生育状況は悪く、数量減で下級品が多い。入荷減の単価高で推移した。

果実

1 k g 当たり平均単価 2 9 8 円

相次いで上陸した台風12号、15号の影響を葉物類、果菜類で受けた。堅調な相場展開となったが極端な高値の前年実績に追いつけなかった。

10月

野菜

1 k g 当たり平均単価 2 3 9 円

台風12号、15号の被害等もあり上中旬は高値で推移。特に連休前後はキロ単価300円を超えたが下旬は暖秋の為か夏秋野菜の切り上がり遅く秋冬野菜も順調な入荷。高値の反動もあり一気に値下がり。乱高下の高い月であった。

果実

1 k g 当たり平均単価 2 3 9 円

秋冬果実のみかん、柿、りんごは前年に比べ順調な入荷であった。みかん、柿は前年より安く全体的には入荷増の単価安で終了。

11月

野菜

1 k g 当たり平均単価 1 8 5 円

中旬からの寒波と秋冬野菜の前進出荷で重量野菜が入荷減になり、特に最終の2日間は高値で推移した。

果実

1 k g 当たり平均単価 1 9 5 円

秋冬果実のみかん、りんご、柿は前年に比べ入荷増であったが、単価はりんご以外は単価安。全体的にも入荷増の単価安で終了。

1 2 月

野菜

1 k g 当たり平均単価 2 1 2 円

重量野菜は1 2 月も前進出荷していたが、中旬からの冷え込みで後半落ち着き、寒さで需要も活発化しまずまず販売で終了。

果実

1 k g 当たり平均単価 2 7 8 円

1 2 月も秋冬果実、特にりんごの入荷が順調。りんごは前年より単価高であったが、みかん、柿は単価安で推移。全体的には入荷増の単価安で推移。